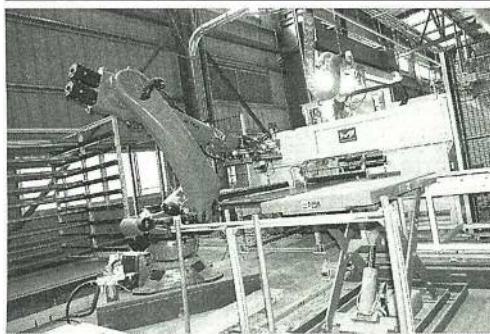


合板加工比率の増加に対応

ポラテック

ビルダーの東北進出などもあり、現在では合板加工比率は8割程度まで高まってきた。合板加工への要望の高まりを受けて、合板加工

機とロボットの組み合わせで導入した。



導入されたクカのロボットとトーアエンジニアリングの合板加工機

する必要がある。この合板加工の組み合板をクラインドの工夫などでクランプ個所を変え、ことによって、すべての工程を加工機で加工することが可能になった。カットした端材もコンベヤーで搬出するようにした。

合板の取り出し、合板加工機で加工できない箇所をジグソーで切るなどの工程があるため、1台に1人、工場員を配置する必要があった。今回の合板加工機とロボットの組み合わせでは、合板をクランプするハンドの工夫

で、1台増設しても1人で加工が可能になる。

東北工場は非住宅の比率が15%程度と他の工場に比べて高く、非住宅物件の受注や構造を整えている。

計算、オリジナルの倒壊シミュレーションソフト「ウッドイノベータNEXT」などを使い、耐震性の高い住宅づくりを支援する体制を整えている。

で、1台増設しても1人で加工が可能になる。

計算、オリジナルの倒壊シミュレーションソフト「ウッドイノベ-